

自閉式ミキシング シャワーバス金具・混合栓

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO自閉式ミキシングシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

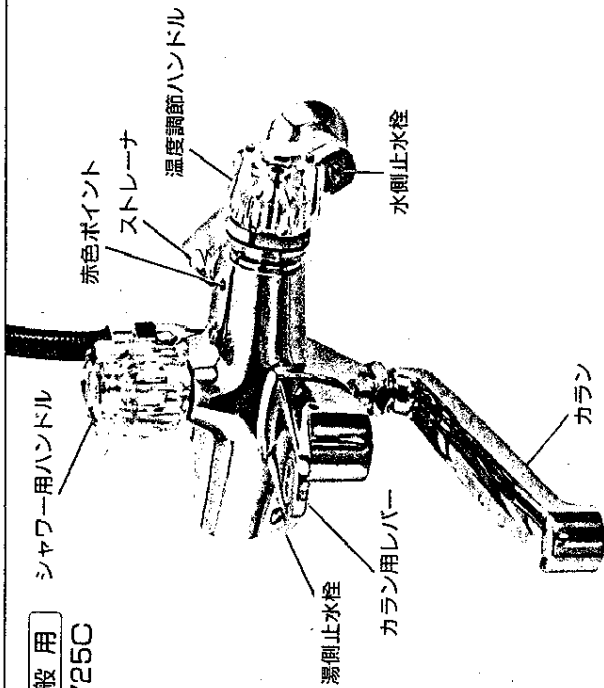
もくじ

特長・各部のなまえ	1～2
使用前に	3
つかいかた	4
使用上の注意	5～6
ストレーナ及び自閉弁の掃除	7～8
吐水量の調節方法	9
手入れのしかた	9
故障したときは	10

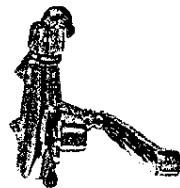
特長・各部のなまえ

1. カラン用レバーを押すだけでカラン側より一定量吐水し、自動的に止水する自閉弁を内蔵しています。
2. カラン側が自動的に止水するので節水省エネに役立ちます。
3. カラン側吐水量の調節が簡単にできる吐水量調節ねじを設けています。
4. 温度調節ハンドルひとつで水-湯-熱湯と自由に温度調節ができます。

一般用
TM725C

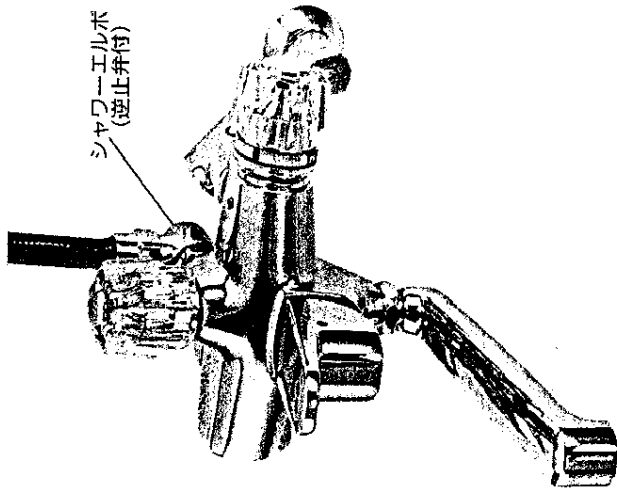


TM725A



付 属 工 具	数
ストレーナ押え開閉工具	1

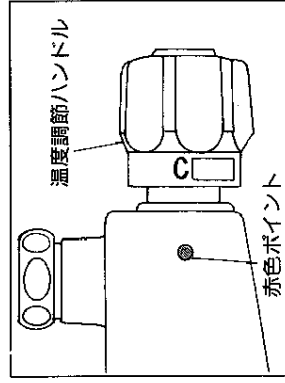
日本水道協会型
TM725CH



5. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。
6. 圧力調整や内部の分解・洗浄に便利な、止水栓を設けています。
7. 機能部がカートリッジ式になっているので、内部の分解・点検が簡単にできます。

使用前に

1. 吐水する前に温度調節ハンドルが「C」になっていることを必ず確認してください。



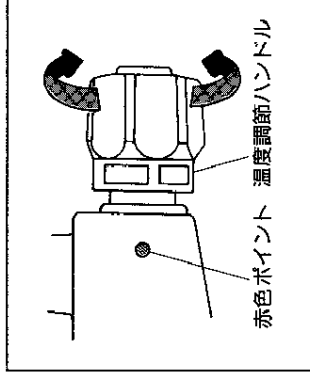
温度調節ハンドルが「H」の位置で吐水させるといきなり熱湯が出て危険です。必ず温度調節ハンドルが「C」になっているかを確認してください。また、使用後は温度調節ハンドルを「C」にしておいてください。

2. 給湯機がガス瞬間湯沸器の場合は次の処置をしてください。

1. シャワー用ハンドルは全開でご使用ください。
2. 湯沸器の温度調節つまみを(高)の位置にし、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
3. 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

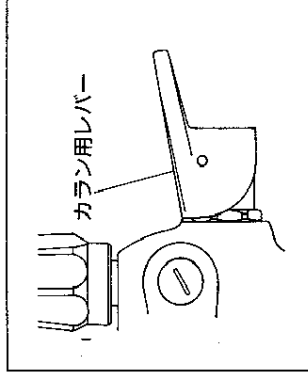
つかいかた

1. 温度調節



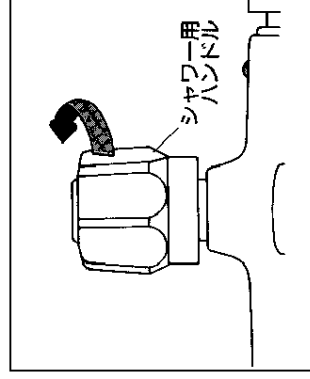
温度調節ハンドルを回しながら湯加減をみてください。赤色ポイントをCに合わせると水が出ます。ハンドルを右に回すと徐々に温度が上がり、Hに合わせると最高の温度になります。なお、温度調節ハンドルでは、湯水を止めることはできません。

2. カラン吐水



カラン用レバーを手で押し下して離すとカランから一定量吐水し自動的に止水します。

3. シャワー吐水(シャワーバス金具の場合)

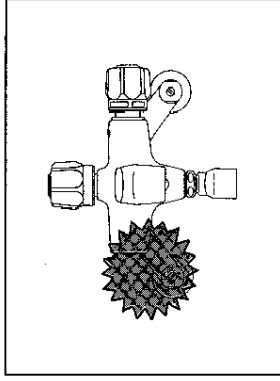


シャワー用ハンドルを左に回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

使用上の注意

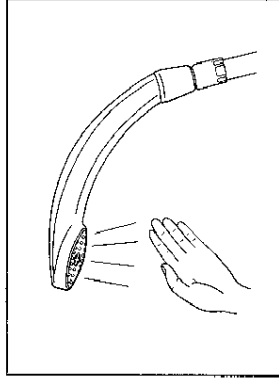
熱湯を使用しますので、火傷などの事故のないよう、必ず注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



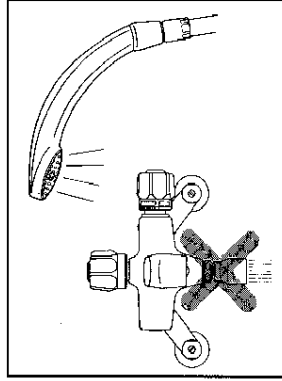
器具の左側は給湯側のため、高温になっていきます。金具の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。

2. 使用前に湯温を確かめる(シャワーバス金具の場合)



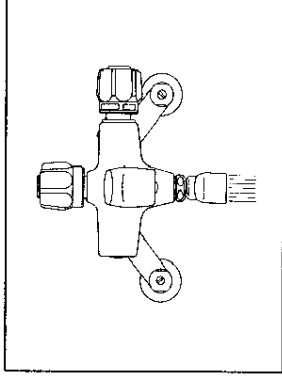
湯加減を調節後、そのままの状態でカララン側からシャワー側へ、又はシャワー側からカララン側に操作した場合、湯温が若干変わることがあります。シャワーから出湯させた場合には、念のためもう一度手で湯温を確かめてからご使用ください。

3. シャワー使用中にカララン側の使用はできません(シャワーバス金具の場合)



シャワー使用時には、カラランレバーを押しても少量の吐水量しか出ません。

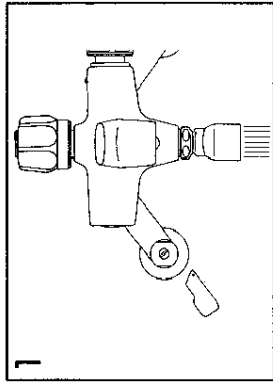
4. しばらく吐水させて使用する



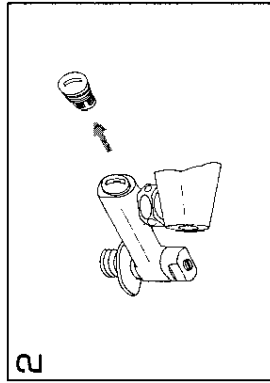
シャワー用ハンドル又はカラランレバーを開いた直後は、給湯管内に溜まっていた高温の湯や、冷水がでることがあります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。

ストレーナ及び自閉弁の掃除

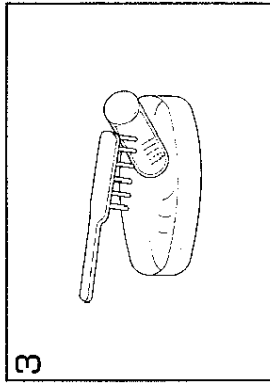
●ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。

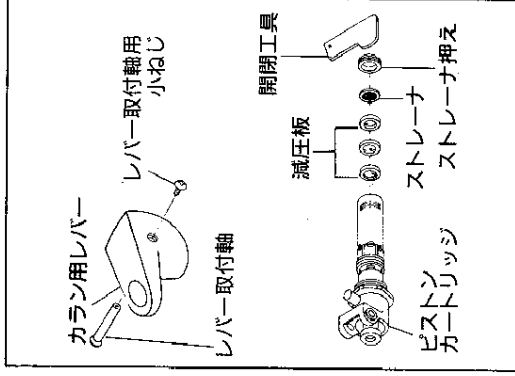


開閉工具又はドライバーでストレーナをゆるめてください。



ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

●自閉弁のストレーナ及び減圧板がつまると吐水量が多くなったり、流れ放しになるなど十分な機能が発揮されなくなります。掃除する場合は次の要領で掃除してください。



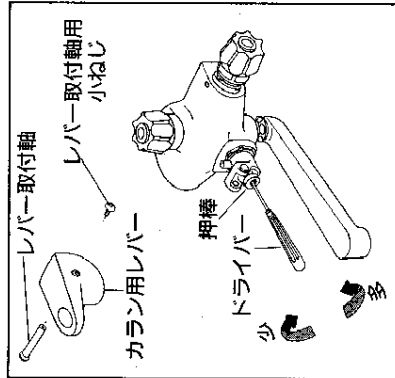
1. 止水栓を閉じる。
2. レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカーン用レバーを取外す。
3. ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。
4. ストレーナ押えを付属の開閉工具でゆるめて取出す。
5. ストレーナを取り出し網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。
6. 減圧板を取り出し裁縫針などの針先で小穴をつついて掃除する。

注：減圧板は3枚使用しています。組立の際は必ず3枚とも組込んでください。(小穴の方向性はありません。)

：注組立の際はストレーナ押え・ピストンカートリッジ及びレバー取付軸用小ねじがゆるまないよう十分に締付けてください。

吐水量の調節方法

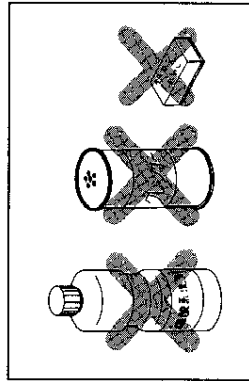
カランの吐水量を調節する場合は次の要領で行ってください。



1. レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラ管用レバーを取外す。
2. 吐水量調節ねじをドライバーで回転させて適当に調節する。
右回転……多くなる。
左回転……少なくなる。
3. 押棒を押して吐水量を確かめる。
4. 調節が終わったらカラ管用レバーを取付け、レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじがゆるまないように十分に締付けてください。

手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーフックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときは、すぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障の修理はお取付工事店が役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の上水道担当窓口にご相談ください。なおご不明な点がございましたら最寄りの弊社事業所にご相談ください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はお客様でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてみてください。

故障内容	点検	点検項目
■シャワーの吐水量が少ない	① ②	① 止水栓は全開されているか。 ② ストレーナの目づまりはないか。
■カランの吐水量が少くない	① ② ③ ⑦	③ 混合栓に湯がきているか。 ④ 自閉弁のストレーナの目づまりはないか。
■カランの吐水量が多い	④ ⑤ ⑥	⑤ 減圧板の目づまりはないか。 ⑥ 吐水量調節ねじの調節はされているか。
■カランの吐水時間が長い	④ ⑤ ⑥	⑦ ストレーナ押えはゆるんでいないか。 ⑧ レバー取付軸用小ねじはゆるんでいないか。
■カランの止水不良	④ ⑤	
■高温しが出ない	① ②	
■低温しが出ない	① ② ③	
■カラ管用レバーがガタつく	⑥	

※点検方法は「ストレーナ及び自閉弁の掃除」、「吐水量の調節方法」の項を参照ください。